

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年4月12日	記入者		連絡先	2152	
平成18年度部名	企画部	課名	文化国際課	課長名	江成朱美	
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	文化国際課	課長名	瀬戸茂美	
事務事業名	文化施設管理運営費 南市民ホール					
予算上の事務事業名	文化施設管理運営費 南市民ホール					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	16120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します					
基本施策名	第1節 多彩な市民文化の振興					
施策名	第2施策 芸術・文化をはぐくむ環境づくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市立市民会館条例						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	さがみはら文化振興プラン			市民文化の創造や文化的視点にたったまちづくりを推進していくための文化振興の目標や方針、基本的な施策などを明らかにすることを目的に策定されたもの		
計画年次	平成6	年度～		年度		
4 事業形態の区分	施設運営			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
市民文化の向上及び振興を図るため、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供や市民文化活動の支援の場である南市民ホールが、利用者に最良の状態で使用してもらえるよう施設の維持管理と運営に努める。				施設利用者		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
南市民ホールの管理運営を指定管理者である(財)相模原市民文化財団へ委託した。 (主な内訳) ・施設賠償責任保険料：58千円 ・施設管理運営委託料：14,600千円						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	16,614	16,869	18,662	16,148	16,148	
一般財源	16,614	16,869	18,662	16,148	16,148	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	3,010	3,010	3,010	3,010	3,010	
事業コスト合計	19,624	19,879	21,672	19,158	19,158	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	利用承認申請等受付業務			対象名称 と単位	南市民ホール利用承認申請等受付状況(件)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	32,754	32,969	34,762	32,248	32,248	
対象数	264	705	633	700	720	
単位あたり経費(円)	124,068	46,765	54,916	46,069	44,789	
前年度比		0.38	1.17	0.84	0.97	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	南市民ホール施設利用率（％）	指標式と指標の説明	ホールの利用日数 / 利用可能日数*100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	72.4	67.4	81.3		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	72.4	67.4	81.3		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	南市民ホール入場者数（人）	指標式と指標の説明	ホールの入場者数（目標値は催事件数*ホール座席数400）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	41890.0	45058.0	48977.0		
目標	94800.0	90000.0	96800.0	100000.0	100000.0
目標達成度（％）	44.2	50.1	50.6		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業の目的から見て成果が上がっており、事業実施方法等も特に問題がないため、事業を現状維持することが妥当であると判断した。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 市民の文化芸術活動に対する多様なニーズの把握			1 5 課題として認識されたこと 市民が望む文化芸術活動に対して、担うべき役割や今後期待される活動を明確にすること。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			